

こころの便り

第263号

令和4年2月

〒679-4343
兵庫県たつの市新宮町大屋六六八十二
株式会社 新宮運送グループ
代表/木南 一志
kininami@shingu.co.jp
電話 079-1-75-1212



新宮運送ホームページ

風となる

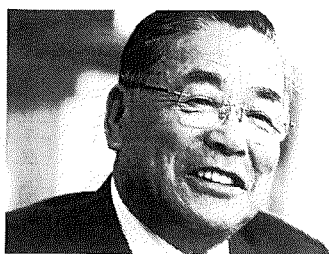
弊社取締役会長 故 木南岩男は 令和四年一月十六日 享年九十三歳にて 永眠いたしました。生前のご厚誼に深く感謝いたしますとともに、寒い中を会社との合同葬に参列くださいました皆様にもあらためて御礼申し上げます。

告別式では、五期二十年の兵庫県政を担ってくださいました井戸敏三前知事並びに山本実たつの市長から心温まる弔辞を賜りまして、身に余る光栄と故人も喜んでいいることと思えます。

ご縁をいただいた龍野生コンクリート株式会社の前田郁夫氏のトラックを中古で分けていただいて、弊社の歴史が始まりました。当時の運送業は、まさに肉体力労働そのもので、フォークリフトも何もない腕っぶりだけが勝負の厳しい仕事でありました。

地元の手延べそうめん「揖保乃糸」の18kgの木箱を手で投げては受け取って、倉庫に積み上げていく、そんな作業の手伝いを子供ながら私もやってきました。幼い頃の我が家では、母が作った晩ご飯をこれから出発する運転手さんと一緒に食べておりました。みんなが家族のような中で、少しずつ会社も私も育っていったのでした。青少年時代の私は反発ばかりで随分、親父を悩ませた存在でした。幼いころに父親を亡くしていただだけに、親子の絆のようなものを求めていただろうに申し訳ないことをしたと今でも思います。

座右の銘 振り向かずゆけ！ 後ろに 夢はない



お客様に恵まれた社業に加えて、龍野ライオンズクラブに入会後は、地域のためにと奉仕活動に精を出すことで地区ガバナーという名誉なお役目まで与えられました。また、私が社長になってからは、たつの市商工会の会長としての活動が加わり、兵庫県商工会連合会の会長としても地元選出の井戸敏三前知事を側面から支えながら、大きな役割を与えられて全国商工会連合会の副会長としても取り組んでまいりました。何よりも忘れ難い思い出は、私が勝手に別会社を創業したことが原因で会社を分割せざるを得なくなり、苦渋の決断を迫ることになったとき、男同士で泣きながら前に進む約束をしたことでした。最後の最後まで仲良く進む道はないかと答えを出してはくれませんでした。しかし、その後は親子でありながら、兄弟として、盟友と

NPO法人 愛ランド様の協力で障害を持つ皆さんが宛名貼り、封入作業をしてお届けさせていただいております。

して、ときには二人で三時間くらい話し込んだりもして共に歩んできた商売の道でした。

人に対する思いやり、社会のお役に立つようにと背中であげられたことは数えきれないくらいですが、私が鍵山秀三郎という師に出会ってから、自分でも本を読んで実践に励む男でもありました。

ゴルフが好きで、ホールインワンだけが心残り口にしていたある日、ついに達成した日の嬉しそうな顔は忘れられないものとなりました。

共に歩んできた私にとっては辛く悲しいことでもありますが、親としてというよりも苦しみを分け合ってきた経営者として、感謝の気持ちで送り出してあげたいと神戸大学医学部附属病院からの帰り道、話せなくなった親父と語り合いながら家に戻ってきました。

有り難いご縁に恵まれ、幸せな一生ではなかったかと思えます。若い頃に登録したアイバンクへの眼球提供ができず、それだけが心残りとなつたと思えるので、兵庫アイバンクさまと地元たつの市に幾ばくかの寄附金をお届けして、故人の遺徳顕彰の機会にできればと存じます。

長い人生の幕を閉じるにあたり、いただいた善悪すべてのご縁のあらゆる皆様にご心より深甚なる感謝の意をお伝えして、故人になりかわりましてのお礼とさせていただきます。

お世話になりました。ありがとうございます。

被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拝